	いる。これらの15様な方法を用い を様な方法を用い 、理論と実践とのにおける実習の5、次年度に行う5 下記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。	授業の主な学習方で、社会福祉実践の統合を図ることで、 意義、法的な位置 実習に必要な知識が することが期待の意義について理	法は、資料による情報 に必要な知識と技能の を目的としている。 づけ、どのように実習 を学習する。 される。 は解する。
ソーシャルワーク実習指導は、実習指導I、II、実習を軸として継続的に展開するよう構成されてい収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、ソーシャルワーク実習指導Iでは、専門職養成が展開されるのかという基本的学習を中心として、ソーシャルワーク実習指導Iが終了した時点で、1)実習(ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャ2)実習施設・機関の概要について明瞭な説明がで3)資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。4)個人のプライバシーの保護と守秘義務について課題1:実習を希望する実習種別に関して、その希まとめなさい。課題2:実習配属施設・機関に関して、その規連法てまとめなさい。	いる。これらの15様な方法を用い を様な方法を用い 、理論と実践とのにおける実習の5、次年度に行う5 下記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。	ルワーク基礎実習 授業の主な学習方 で、社会福祉実践 の統合を図ること 意義、法的な位置 実習に必要な知識 成することが期待 の意義について理	及びソーシャルワーク 法は、資料による情報 に必要な知識と技能の を目的としている。 づけ、どのように実習 を学習する。 される。 世解する。
実習を軸として継続的に展開するよう構成されてい 収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多 具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、 ソーシャルワーク実習指導Iでは、専門職養成にが展開されるのかという基本的学習を中心として、 ソーシャルワーク実習指導Iが終了した時点で、「 1)実習(ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャ 2)実習施設・機関の概要について明瞭な説明がで 3)資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4)個人のプライバシーの保護と守秘義務について 課題1:実習を希望する実習種別に関して、その希 まとめなさい。 課題2:実習配属施設・機関に関して、その関連法 てまとめなさい。 【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟総	いる。これらの15様な方法を用い を様な方法を用い 、理論と実践とのにおける実習の5、次年度に行う5 下記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。	授業の主な学習方で、社会福祉実践の統合を図ることで、 意義、法的な位置 実習に必要な知識が することが期待の意義について理	法は、資料による情報に必要な知識と技能のを目的としている。 づけ、どのように実習を学習する。 される。 は解する。
実習を軸として継続的に展開するよう構成されてい 収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多 具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、 ソーシャルワーク実習指導Iでは、専門職養成にが展開されるのかという基本的学習を中心として、 ソーシャルワーク実習指導Iが終了した時点で、「 1)実習(ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャ 2)実習施設・機関の概要について明瞭な説明がで 3)資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4)個人のプライバシーの保護と守秘義務について 課題1:実習を希望する実習種別に関して、その希 まとめなさい。 課題2:実習配属施設・機関に関して、その関連法 てまとめなさい。 【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟総	いる。これらの15様な方法を用い を様な方法を用い 、理論と実践とのにおける実習の5、次年度に行う5 下記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。 で記の目標を達成がある。	授業の主な学習方で、社会福祉実践の統合を図ることで、 意義、法的な位置 実習に必要な知識が することが期待の意義について理	法は、資料による情報に必要な知識と技能のを目的としている。 づけ、どのように実習を学習する。 される。 は解する。
1) 実習 (ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャ 2) 実習施設・機関の概要について明瞭な説明がで 3) 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4) 個人のプライバシーの保護と守秘義務について 課題 1: 実習を希望する実習種別に関して、その希 まとめなさい。 課題 2: 実習配属施設・機関に関して、その関連法 てまとめなさい。 【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟総	アルワーク実習)できる。 できる。 で理解する。 を望動機と関連法	の意義について理	単解する。 ナービス内容について、
まとめなさい。 課題 2:実習配属施設・機関に関して、その関連法 てまとめなさい。 【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟総			
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟総			•
【参考書】 東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』	※講義にて配わ	衔	_
 2. 実習施設・機関の概要について明瞭な説明がでる。 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4. 個人のプライバシーの保護と守秘義務について ○評定の方法 1. 課題 1 30% 2. 課題 2 30% 講義参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む)なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認でき 	できる。 て理解する。) 40% きない場合は単位	この取得を認めない	
的としている。目的達成のため、受講生は以下の約 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保つ 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できない。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、い場合、たとえ皆出席であってもF評価にない。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は対している。 数員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はいる。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをする。 (発言、発表等)できるよう双方向対話型のに	条件を守ること。 て受講すること。 いことと いことをした は が は が は が は は が に し な が に し な が に し な が に し る の に し る め が に し る が う に し る が う に し る り っ に し る り っ と っ ら ら っ と っ ら っ と っ ら っ と っ と っ と っ	。学生には積極的 ま放っておかない 合はその理由を必 う。指導後も授業 こと。 と。 て行う。 用語はわかりやす 行いながら、学生	な態度を望む。 こと。 ず教員に書面をもって 態度の改善が見られな く説明する。 が積極的に授業に参加
第1回の講義時に通知します。			
·		<u></u>	
リーク実習指導 I のねらいと単元の解説、講ついての説明 、実習の循環について (テキスト pp2-6)	下前学習 しく 「序 手後学習 デキ 習の 配布物 『ソ	シャルワーク実習 はファイル)を準 章」を熟読する。 スト「序章」を熟 循環についてノー ーシャルワーク実	指導I用のノート(も 備し、併せてテキスト 読し、講義・演習・実 ・トにまとめる。 習の手引き』、『学習の
	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟: 「参考書】 「東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』 東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 の成績評価の規準 ・実習施設・機関の概要についで説明でない。 ・資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 ・個人のプライバシーの保護と守秘義務について。 ・課題 1 30% ・課題 2 30% 構義参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む。 ・課題 2 30% 構義参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む。 ・課題 2 30% 構義参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む。 ・課題 2 30% 構義参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む。 ・課題 2 30% はまた、本学規定により、本講義未収得者への実置により、本講義未収得者への実置により、本講義未収得者への実践をないる。目的達成のため、受講生は力を保護をないた。 ・授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保きない。 ・授業中は、常に高い緊張感と、との下できる。・明らかに授業態度が悪いと判断された際価にない、投業中、私語、居眠り、携帯電話等の操行は、投業の目的、目標を明確にし、授業の進行は、受講生全体に聞こえる大きのではなく、デーカに受講生全体に関こえる大きのではなく、デーカに受講生全体に関こえる大きのではなく、が発表により、根語に対処する。 ・投業の目の講義時に通知します。 ・投業内容 ・投業内容 ・投業内容 ・投業内容	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャ/ 中央法規出版、2021.2 【参考書】 東高福社大学『ソーシャルワーク実習の手引き』 ※講義にて配売 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 一、実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。 3. 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 3. 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 40人のブライバシーの保護と守秘義務について理解する。 5. 課題 1 30% 4. 課題 2 30% 構義参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む) 40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位 また、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、 力としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 40分としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 40分としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 40分としている。目の達成のため、受講生は以下の条件を守ることと。 40分としている。目の達成のため、受講生は以下の条件を守ることと。 40分としている。目の達成のため、残構生は以下の条件を守ることと、 40分としている。目の達成のため、受講生は以下の条件を守ることと、 40分としている。目の達成のため、場構生は以下の全体をであるととした場報告すること。 40分としている。日前に質しないことを定した場報に質別、早退をしないことをでは、厳格な指導を行い場合、たとえ皆出席であっても下評価になるので注意する。 40分とは以下のことを実行する。 40分と対策を行うのではなく、が存れたでは、大きなので注意する。 40分とは以下のことを実行する。 40分と関連であるとともに可となり、 40分に関連を作業をできるよう双方向対話型の学習環境を作業を表等)できるよう双方向対話型の学習環境を作業を表等とよるは、厳格に対処する。 40分と単元の解説、講事後学習 事前学習 リーくく 大学業内容 第1回の講義時に通知します。	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導 中央法規出版、2021.2 【参考書】 東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』 ※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 ※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 ※講義にて配った。 2. 実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。 3. 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4. 個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。 5. 課題 2 30% 講教の加度(事前事後学習、提出物等状況を含む) 40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の取得を認めないまた、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 また、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 4. 課題 2 30% 構参加度(事前事後学習、提出物等状況を含む) 40% なお、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 また、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 大大、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 た、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 大大、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 大大、大学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 大大、大学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。 大大、大学規定により、本講を表示の事としている。学生には積極的 のもしている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。学生には積極的 5としている。目の連載を認めなど、学生には積極的 5としている。目の連立と、学生には積極的 5としている。と学には大学をできること。学生には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的など、学生には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。と学には積極的 5としている。学生には積極的 5としている。学生には積極的 5としている。学生には積極的 5としている。学生には積極的 5としている。学をであたているのでは対域を記述すること。学には積極的 5としているときをであること。学には積極的 5としているとをであること。学には積極的など様を記述すること。学には積極的 5としているとをであること。学には積極的のではないまでできないまとないでは、対域を記述すること。学には積極的など様を表がまる。学を記述すること。学を記述すること。学者のでは、またいに

	・実習前中後の流れ(全体像)と指導体制についての理解 (東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用)	事前学習	実習で学びたいことをノートにまとめる。
第2回	・実習に関する基本的ルールの確認(東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用)	事後学習	『ソーシャルワーク実習の手引き』をを参照 に東京福祉大学の実習の仕組み(全体像)に ついてまとめる。
	・実習および実習指導の意義と目的について理解する (テキストpp. 2~19):	事前学習	テキスト pp. 2-19 を熟読し内容を確認、また 不明な点を書き出す。
第3回	専門職養成において実習を実施することの意味・意義について理解を深める	事後学習	「(専門職養成において) なぜ実習が必要なのか?」についてまとめる。
frite 4	・実習の構造及び東京福祉大学における実習(ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習)の理解(テキスト	事前学習	テキスト pp.37-44 を熟読し内容を確認、また不明な点を書き出す。
第4回	ストpp. 37-44 及びソーシャルワーク実習の手引き使用): 実習において求められる教育内容と本学の実習目標を相 互に理解し、実習目標への理解を深める	事後学習	東京福祉大学の実習(ソーシャルワーク基礎 実習及びソーシャルワーク実習)の目標につ いてノートにまとめる。
/**	・実習におけるスーパービジョンの理解 (テキスト pp. 20-23): スーパービジョンに関する基本的知識の確認と本学の実習巡回指導及び帰校指導の方法について理解する	事前学習	テキスト pp. 20-23、pp. 7-44 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
第5回	音巡回指導及び帰校指導の方法について理解する ・実習における教育評価の理解 (テキスト pp. 24-36): 実習における評価の意義と方法を知るとともに、本学の実 習評価の仕組みについて理解する	事後学習	スーパービジョンの意義と目的、評価の意義 と目的についてノートにまとめる。
第6回	・実習(ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク 実習)が可能な施設・機関の紹介と説明(テキスト pp. 73-	事前学習	テキスト pp. 73-79 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
7,00	79 及び東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用): 法定施設・機関の紹介と希望種別の選択	事後学習	実習希望種別を選別しするとともにその動 機についてノートにまとめる。
	・事前学習として実習先を理解する意義 (テキスト pp. 58-63):	事前学習	実習希望種別に関する情報を収集する。
第7回	希望種別に関する事前学習レポートをまとめる(課題 1) ・社会福祉士資格取得に関する動機及び実習先種別に対す る動機の明確化	事後学習	課題1の作成 (講義内で示される提出期限厳守)。
第8回	・実習施設・機関の基本的理解:	事前学習	希望種別に関するプレゼンテーションの準 備。
жо ы	個人レポート(課題 1)の発表と共有	事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバック をまとめる。
第9回	・実習施設・機関の基本的理解:	事前学習	希望種別に関するプレゼンテーションの準 備。
ж <u>о</u> Б	個人レポート(課題 1)の発表と共有	事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバック をまとめる。
	・実習先の配属	事前学習	東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」を熟読し、実習配属から実習実施までの 流れを再確認する。
第 10 回	・実習施設・機関に関する学習 (テキスト pp. 82-103): 実習先決定後の学習内容について理解する ・誓約書・個人調書等書類の作成(実習への抱負の明文化):	事後学習	実習施設に関する情報収集を行い、ノートに まとめる。
	実習実施に必要な各種書類の作成について理解する	配布物	実習配属通知、個人調査書(実習先提出用) 実習記録必要書式のコピー(施設概要及び実 習プログラム案下書き用紙
htt:	・実習施設・機関に関する学習 (テキスト pp. 82-103): 実習施設・機関に関連する情報の収集方法について理解	事前学習	「社会福祉士を目指す動機」「思い描く社会 福祉士像」について言語化できるようまとめ る。
第 11 回	し、情報収集を行う ・個人調書等書類の作成(社会福祉士資格取得の動機の明 文化)	事後学習	個人調書を作成し、教員から添削を受ける。
第 12 回	・「実習施設・機関の概要」の作成: 実習配属施設・機関に関して、その関連法令、規定された	事前学習	テキストpp.84-103を参照し、実習施設・機 関について調べるべき事項に関わる情報を 収集する。
	サービス内容等施設・機関の概要についてまとめ方につい て理解する。	事後学習	課題2の作成(講義内で示された提出期限厳守)。
tota :	・実習計画書の作成(テキスト pp104-109):	事前学習	テキスト pp. 104-109
第 13 回	実習計画の意義と内容、作成方法について理解する。	事後学習	実習計画書の下書きを作成し、担当教員へ提 出する。
			<u> </u>

個人情報保護法の理解を含め、実習 第14回 第2回 第2回 第2回 第2回 第2回 第2回 第2回 第2回 第2回 第2	・実習におけるリスクマネジメント (テキスト pp. 45-55): 個人情報保護法の理解を含め、実習におけるリスクマネジ	事前学習	テキスト pp. 45-55 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
	メントの必要性と重要性において理解を深める ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染等防止対 策について: 感染防止対策に関する基本的事項について確認する。	事後学習	感染症防止の基本的事項と留意点をまとめる。
第 15 回	・学習のまとめ ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱに向けた課題	事前学習	ソーシャルワーク基礎実習に係る各種書類 を整え、不足がないかを確認する。
		事後学習	ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャル ワーク実習指導Ⅱに向けた自己課題につい てまとめる。